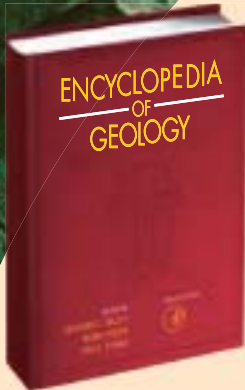


Abbreviated Contents



APPLIED GEOLOGY	LIFE ON EARTH: PRIMITIVE	REGIONAL GEOLOGY
EARTH HISTORY	ORGANISMS & MICROFOSSILS	ASIA
EARTH MATERIALS	LIFE ON EARTH: VERTEBRATES	REGIONAL GEOLOGY
EARTH PROCESSES	METAMORPHIC ROCKS	EUROPE
HISTORY OF GEOLOGY	MINING GEOLOGY	REGIONAL GEOLOGY
LIFE ON EARTH: GENERAL	PETROLEUM GEOLOGY	GONDWANA
LIFE ON EARTH: INVERTEBRATES	REGIONAL GEOLOGY	SILICATES
LIFE ON EARTH: PLANTS	NORTH AMERICA	SURFACE PROCESSES

* Contents listing is preliminary.
Changes may occur prior to publication.

推薦文

この地質学百科事典では、地球の内部構造、構成物質（岩石、鉱物）、地質現象（火山、地震、風化、堆積、変成作用など）、地域地質（ヨーロッパ、ロシア、中国、日本、北アメリカ、オーストラリアなど）、構造地質、地球史、古無脊椎動物、古脊椎動物、古植物、応用地質、土木地質、石油地質、鉱産資源、地球化学、地学史などの約340項目について、各々2500～4000語（7～15頁）で詳しい説明がなされている。図や写真のほとんどが鮮やかなカラー印刷で仕上げられており、各項目ごとに参考文献と関連項目が紹介されている。

そのために学生など初学者にとってはまことに便利な、地質学に関する“総合テキスト”ともいえるものになっている。本書はまた、これらの内容を熟知しているという自覚のもとに研究や仕事を行っている大学・研究機関の研究者、民間会社の技師、各種教育機関の教師、博物館の学芸員などにとっても大層役立つものであることを強調したい。きっと新たな知識の充足の喜び、あるいは新鮮な驚きを感じるであろう。

各項目はそれぞれ一流の専門家によって執筆されており、当該項目の内容がこの限られた字数（頁数）のなかでどのように取扱われ、盛込まれているか、興味深い。例えば、私の専門である腕足動物、石炭紀、ペルム紀、あるいは関連する中国、ロシアなどの地質がどのようにまとめられているか、興味をもたれる。また、専門外ではあるが、近年の1900-1962年、および1962年以後の地学史に興味をもたれる。さらにマーチソン、キュビエ、ジュース、ウエゲナーについての解説もどのようになされているのか、一読してみたい。さて皆さんはどの項目に惹かれるであろうか。

5分冊、3200頁というボリュームはその内容からして適当であり、コンパクトにまとめた編集者および出版社の関係各位に敬意を表す。書齋に、研究室あるいは職場の図書に、ぜひ1セットを備えることをおすすめする次第である。

新潟大学自然科学系教授 田澤純一